

実施場所・施設名		富山市奥田新町7番35号 第2ボルファートビル1F		
訓練科名	152 介護職員(初任者)養成科	就職先の職務	病院、老人施設等の介護業務、訪問介護事業所等の訪問介護員	
訓練期間	平成27年3月27日(金)～平成27年6月26日(金) 3か月	訓練人員	最少開講人員10名から 定員30名	
訓練内容	介護従事者としての職業倫理と態度を養い、社会福祉及び関連領域の基礎知識と介護の技法・技術を訓練する。			
習得能力	基本的な介護を実践するための最低限必要な知識・技術。多職種と協働して総合的にサービスを提供することの理解、チームの重要性と責務の理解、コミュニケーション能力、的確な記録・記述の理解、人権擁護の視点、職業倫理の基本の理解。			
目標資格	介護職員初任者研修課程修了 福祉用具専門相談員			
科目		科目の内容		時間
訓練 科目	職務の理解	多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解		9時間
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護		12時間
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全		12時間
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション 障害者自立支援制度及びその他の制度 地域包括支援センターについて 在宅看護の基礎知識 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割 介護保険制度の考え方と仕組み 介護サービスにおける視点 住環境と住宅改修 リハビリテーション 福祉用具の供給の仕組み 福祉用具貸与計画等の意義と活用		42時間
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション 高齢者の日常生活の理解		12時間
	老化の理解	老化にともなう心と体の変化と日常 高齢者と健康 医学の基礎知識 からだとこころの理解 誤嚥と口腔のしくみ		24時間
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症にともなう心と体の変化と日常生活 家族への支援		9時間
	障害の理解	障害の基礎的理解 障害の医学的側面基礎的理解 家族の心理、かかわり支援の理解		6時間
	こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 生活と家事 快適な居住環境整備と介護 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 介護課程の基礎的理解		57時間
	振り返り	振り返り 就業への備えと研修終了後における継続的な研修		6時間
	試験対策	試験対策 筆記試験		7時間
	就職支援	就職支援 履歴書の書き方 面接の受け方 実習についてのオリエンテーション		19時間
	新しい社会福祉論	成年後見制度 災害時の対応 コミュニティケア		8時間
	内容 実技	生活支援技術演習	整容に関する実技演習 移動・移乗に関する実技演習 食事に関する実技演習 入浴、清潔保持に関する実技演習 排泄に関する実技演習 総合生活支援技術演習 介護技術 実技復習 口腔ケアについて 実技評価	
介護実習		福祉用具の特徴 福祉用具の活用 福祉用具の利用の支援に関する総合演習 車両乗降介助 障害者とのスポーツクレーション 救急救命講習 介護予防 介護事務について 介護実習(施設実習、同行訪問、デイ見学、総合復習、パソコンの基礎)		84時間
訓練時間総合計 367 時間(学科223時間、実技144時間)				
主要な機器設備	介護用ベッド、車椅子、介護浴槽、調理台一式 他		教材費等計	11,280円(予定価格)
受講対象	・初心者・他(程度)		検定料計	別途、健康診断に係る費用